

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看取りの実績はないが家族のニーズもあり、今後事業所としての方針を確立する必要がある。	看取りケアに向けての方針を検討し施設の対応力を身につける。	・外部研修を受ける。 ・施設内勉強会を行い、共有し、方針を検討する。	12ヶ月
2	4	21年度の運営推進会議が2回しか開催されていない。	2か月に1回開催する。	2か月に1回開催する。	12ヶ月
3	35	避難訓練が施設内だけの訓練に終わっている。	近隣住民・消防の協力を得て、訓練を実施する。	訓練時スタッフだけでなく関係機関や自治会などにも協力をお願いしていく。	12ヶ月
4	49	車椅子の方の外出の機会が少なく、近場の受診程度になってしまっている。	車椅子の方の外出の機会を増やす。	・曜日や時間を決めて近所への散歩から始める。 ・状態を見ながらドライブ等行っていく。	12ヶ月
5	52	和室とリビングが一目で見渡せないため、十分な安全確保ができていない。	利用者の十分な安全確保ができる工夫を行う。	・できるだけリビングで過ごして頂き、必ずスタッフが1名リビングにいる体制を作る。 ・居室に手過ごされている場合は訪室を心がける。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。